

裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター



No.81
2016年11月

小さな世界 ⑯

落葉した木立のなかを、冷たい風がひと吹き。どこかものさびしい森の雰囲気に、冬の足音が次第に大きくなっていることを感じます。それでも今は今で、夏に花をつけていた植物が、あっと驚くような一面を見せてくれていたりもします。薄いペラペラしたものがぎっしりと隙間なく積み重なっているのは、オオウバユリの種子。まるで、几帳面な人が積み重ねたかのようにも見える構造ですが、他になにもない自然の成せる業であることに、驚きを隠せません。背が高く何かと目立つ植物ですが、一生を通じて背が高くなるのは、繁殖期の最後の一年だけ。種子から芽を出してから6~8年は、葉を増やしながら成長します。そして、一生に一度だけ茎を伸ばし、花を咲かせて実をつけます。一つの実のなかに入っている種子を数えると、なんとその数592個！一生分のエネルギーの詰まった命のバトンたちは、これから強い木枯らしに吹かれ、旅に出ることでしょう。

（「オオウバユリの種子」 2016年11月7日）

20 年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

■ 冬に向かって ■

昨冬は、近年にない小雪の冬でした。ビジターセンターで観測した積雪は2月11日で106cmでした。一昨年は3月14日に238cmでしたので、本当に小雪の冬でした。

冬とは?一説には、寒さが威力を「ふる(振)う」意、寒さに「ふる(震)う」意。また「ひゆ(冷)」「ひゆ(殖)」の意からなどともいう四季の一つ。



秋に次ぎ、春に先立つ季節で、一般には、十二月、一月、二月の三か月の称。

陰暦では、立冬から立春まで、十月、十一月、十二月の三か月。

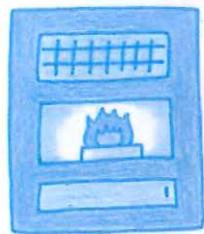
天文学上では、冬至から春分まで、即ち十二月二十二日頃から三月二十一日頃まで。

四季の中で最も寒い。(広辞苑より)

裏磐梯のような雪国では、そろそろ冬の準備に忙しくなる頃です。除雪機の点検・整備、スノーダンプやスコップの用意、冬用タイヤへの交換などなど。そして暖房機の用意、ストーブや炬燵を用意するご家庭も多いことと思います。

今年は、11月4日には磐梯山が雪で白くなり、毘沙門沼からは、カエデの紅葉と、雪化粧した磐梯山を見る事ができました。また、11月9日にはビジターセンター周辺でも初雪が降りました。

裏磐梯で一番最後まで紅葉が残る毘沙門沼のカエデは11月20日に全部の葉が落ちました。これから本格的に冬を迎えます。スキー、スノーシューなど楽しみもたくさんあります。今年はどんな冬になるのか楽しみですね。



■ こんなのが見なかつた? ■

裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんでしょう?

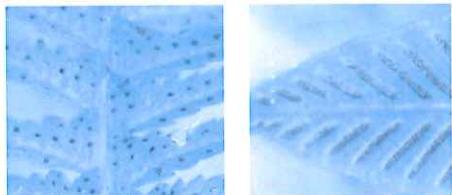
森に入るとよく目につくシダ。シダにもいろいろな種類がありますが、どれも似たような葉っぱだけで花も咲かず、特徴がなさそうに感じます。ですが、夏から秋にかけ、葉っぱをひっくり返して葉の裏を見たことがありますか?右の写真では、右の葉が表で、左が裏です。葉の裏についている茶色のつぶつぶは、さて何でしょ?

- ① 昆虫のたまご
- ② 昆虫の幼虫のフン
- ③ シダについたカビの一種
- ④ シダが分泌した老廃物
- ⑤ シダの赤ちゃん(種子)

答えは、①~⑤のどれでもありません。正解は、ソーラス(胞子囊群)と呼ばれるシダの植物体の一部です。ソーラスの中に胞子囊(ほうしのう)が入っていて、胞子囊の中に大きさが0.05mmほどのとても小さな胞子が入っていて、これが周りに飛び散ります。



ただ種子とは違い、まだシダの赤ちゃんとは呼べません。胞子はやがて数ミリの大きさの前葉体というハート形のコケのような植物体になり、この内で受精が行われた後、ようやくシダの赤ちゃんになり、新しいシダになります。ソーラスの形は下の写真のように、シダの種類により様々で、見分ける手がかりになります。



シダ植物は、地球の歴史上、完成された初めての陸上植物で、遅れて進化し今日繁栄している花の咲く種子植物とは大きく異なります。ワラビやゼンマイ、コゴミ(クサソテツ)もシダ植物!皆さんも古代植物の生き残りともいえるシダ植物を、じっくり観察してみてください。

■ 自然人（しぜんびと）

■ 自然の中でがんばっている人たちを紹介します

このコーナーでは自然活動をがんばっている若い方にスポットをあて、自然の魅力や活動、目標などを紹介していただきます。



今回は「越の里山俱楽部」事務局兼
自然ガイドの小山陽平さん（よーへー）です。

「越の里山俱楽部」
ここです！



「身近にこんな自然があるんだ！」そんな驚きの声が今日もお客様から聞こえます。

私の働く、越の里山俱楽部は新潟県長岡市にあります。人口約28万人、新潟県下第2位の人口を誇ります。そのような都市の近くで、どれだけの人が身近な自然を知っているでしょうか？

仕事の内容は主に2種類。1つ目は、自然体験や環境教育。例えば、田植えや稻刈りなどの農業体験。自然の中をゆっくり歩くネイチャーガイド。里山には珍しいセグウェイに乗っての自然散策。親子で自然の中で過ごす森のようちえん。2つ目は、里山の保全活動。例えば、手つかずの荒れた林の間伐や下草刈りを行い、山野草や動物たちが暮らしやすい豊かな里山の復元を行います。



私の思う里山の魅力は、たくさんの生き物が住んでいて、たくさんの植物があって、それらが自分たちの住んでいる身近にあることです。今まで何気なく見逃していた花や虫などの生き物にちょっと目を向けてあげるだけで、すごい世界が広がります。日々の葉っぱの移り変わりなど、変化する自然が大好きです。

里山に来る子供たちに必ず言ことがあります。「たくさんの発見をしてほしい」。生き物でも葉っぱでも何でもいい。新しい発見をして、里山を大好きになってもらうこと。そのきっかけを作つてあげることが私の仕事です。

★越の里山俱楽部★ <http://www.koshi-sato.net/>
Facebookのアカウントもぜひ検索してみてください。

■ ようこそ！ビジターセンターへ

■ 裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

秋のイベントを実施しました！

秋のイベントとして、「わくわく散歩」・「スライドトーク」・「裏磐梯の生き物調べ」を実施しました。わくわく散歩では、植物の種子散布や紅葉のしくみを解説するなど、スタッフそれぞれが秋ならではの内容を盛り込んだご案内をしました。毎回さまざまな参加者の皆さまとのふれあいが化学変化を巻き起こし、スタッフにとっても楽しい一時となりました。



講演会を実施しました！

11月7日（月）NPO法人おーでらす代表の今野万里子氏をお招きし、秋の講演会を開催しました。テーマは「野生動物と地域づくり」。野生動物と共に暮らす地域づくりにおける、「どうしたいのか」というビジョン共有化の重要性などについてお話しいただきました。ツキノワグマの生息域でもある裏磐梯が目指す地域像について、参加者からはさまざまな意見が出され、大いに盛り上がりました。



お知らせ

※ウェブサイトからも裏磐梯だより最新号やイベント報告の詳細をご覧いただけます

イベントのご案内

わくわく散歩

スタッフがビジターセンター周辺をご案内します。雪が積もってからは、スノーシューを履いて行います。

日時：随時受付

時間：30分程度

参加費：100円（未就学児無料）

スノーシューレンタル代：500円

長靴レンタル代：200円

スライドトーク

スライドを使い、スタッフが五色沼の成り立ちや水の仕組み、磐梯山の噴火、裏磐梯で暮らす生き物などについてお話しします。

日時：随時受付

時間：25分程度

参加費：無料



第12回学生研究発表会

第12回学生研究発表会の発表学生を募集します。主に磐梯朝日国立公園で調査・研究を行っている大学生、大学院生のみなさまにその成果を発表していただきます。詳細はお問い合わせください。

期日：2017年3月15日（水）

11月～1月に見られる生き物たち、雪について

紅葉が終わり、雪のシーズンになります。葉っぱがなくなって見通しが良くなり、冬鳥もやってくるため、野鳥観察にはもってこいの時期です。マガモ、ヒドリガモ、ヨシガモ、ホシハジロ、オオバンといった水鳥の他、ツグミ、マヒワ、ヒレンジャクなどの野鳥も観察できます。また、木には、冬芽や木の葉が落ちた痕の葉痕（ようこん）が見られるため、オニグルミ、ホオノキ、トチノキ、ミズキなどの植物の観察も面白いです。雪の上にはノウサギやキツネ、タヌキ、イタチ、ニホンリスなどの動物の痕跡があり、それらを探す「アニマルトラッキング」も楽しめる時期です。

裏磐梯は例年、1.5m以上も積雪があります。2014年度は最高で238cmも積もり、その年によって積雪量が大きく変わります。数十cmも積もると、トレッキングシューズのみでの散策ができず、スノーシューやかんじき等が必要になります。また、探勝路とそれ以外の場所が見分けにくくなり、道に迷う危険性もありますので、その場所を熟知したガイドさんと一緒に歩くことをおすすめします。



「裏磐梯だより」について

■ ウェブサイトからもご覧いただけます！

年間6回（奇数月）の発行ごとに更新します。どうぞおたのしみに！

■ 総集編 vol.1～3販売中!!

※各1冊 1,300円（税込）

裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。



■ 郵送でお届けする定期購読も！

ご住所とお名前を明記の上、82円切手6枚（1年間6回の送付分）を同封して裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。

★ビジターセンターの窓から★

晩秋の裏磐梯、哀愁漂います。今年は雪が多くなるという話をよく聞きますので、除雪頑張ります。（ろっぴ）
スキーミしましょ！？（くりりん）
裏磐梯でもう何年も仕事をしましたが、今年は自然が主目的の仕事。改めて、すごい！！（ターサン）
初めてむかえる裏磐梯の冬。冬道の運転が心配でもあります、スノーシューや野鳥の観察など、楽しみなこともあります♪雪はたくさん積もるのでしょうか？（はるるん）

観光道路の冬季通行止めについて

磐梯山ゴールドライン、磐梯吾妻レークライン、西吾妻スカイバレー、磐梯吾妻スカイラインは来春まで冬季通行止めです。



磐梯朝日国立公園

裏磐梯ビジターセンター



入館無料

開館時間

冬季 12月～3月 午前9:00～午後4:00

（夏季 4月～11月 午前9:00～午後5:00）

休館日

毎週火曜日、年末年始休館

（火曜祝日の場合は開館し翌日休館）



〒969-2701

福島県耶麻郡北塙原村大字桧原字剣ヶ峯 1093-697

TEL 0241-32-2850

FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>